

2022年度「イオン・スカラシップ」奨学生の募集

2022. 3. 8

1. 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 2022年4月現在で学部または博士前期正規課程に在籍する私費外国人留学生(在留資格「留学」)で、在学残期間が1年以上の者。(留年者は申請不可)
- 2) インドネシア、カンボジア、韓国、タイ、台湾、中国(香港含む)、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス いずれかの国籍の者。
- 3) 2022年4月1日現在で30歳以下(学部)、35歳以下(博士前期)である者。
- 4) 1か月の生活費(授業料は除く)が12万円以下のアルバイトを必要とする学生で、奨学金受給後アルバイト時間数を削減できる者。
- 5) 2022年7月16日(土)の授与式(参加必須)、及び、その他のイオンが企画する行事に参加できる者。
- 6) 小売業・サービス業・金融・商業・デベロッパ(不動産業)・農業・漁業・IT・環境系 に強い関心を持つ者。
- 7) 他の奨学金を受給しない者。
- 8) 日本語能力を証明できる者。(募集要項: 3ページ 項目6. 応募提出書類. Dを参照)

Japanese ability equivalent to JLPT N3 level is required to apply.

2. 支給金額及び支給期間

生活費として月額10万円、授業料を2022年4月から最大2年間

- ※ 採用された場合には、授業料免除を申請していた方は取り下げて頂くこととなります。総長特別奨学生でも応募可能ですが、採用された場合は受給期間中の支給を停止することとなります。
- ※ 2年目継続可否は審査により決定、2年以内で卒業する学生は卒業月まで。

3. 推薦人数 2名(国籍が異なる者)

4. 提出書類

- 1) 奨学生申込書 (提出書類A、A4用紙3枚組、日本語、PC作成可、片面印刷)
 - ※ PC作成の場合、ページ割り当てを変えないこと。
 - ※ 「9. 経済状況」については、収支額に著しい差が開かないようにすること。また、授業料は4月以降の見込み(全額自己負担)として記入すること。
 - ※ 「13. 認定期間中、～」の項目については、下記財団ホームページを確認の上、記述すること。
財団ホームページ: <http://aeon1p.or.jp/1p/>
- 2) 写真(3か月以内のもの)
 - ※ JPEGデータ, サイズ: 縦4cm×横3cm, 背景: 白
ファイル名: 「2022 名前(パスポート表記名)」, データ送付先: (eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)
- 3) 学業成績証明書(学部以降直近のものまで、原本)
 - ※ 別紙参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること。
 - ※ 母国など他大学/高校のものは写しで可。
- 4) 在留カードのコピー(両面の写しをA4用紙一枚に収めたもの、渡日前入学者はパスポートコピー)
- 5) 誓約書(提出書類F、本人署名)
- 6) 個人情報取り扱いに関する同意書(提出書類G、本人署名)
- 7) 日本語能力試験証明書のコピー
 - ※ 未受験の場合は相応の日本語能力を有することを証明する書類(A4用紙、様式任意、指導教員が署名したもの)を提出。
- 8) 奨学生推薦書(提出書類B、指導教員により作成、**推薦が決まったら提出**)
 - ※ 4月現在で最終学年に在籍する場合、卒業見込みに関する所見も含めること。
- 9) 私費外国人留学生身上書(所定様式)
- 10) 家計状況申告書(所定様式)

5. 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6. 締切日 2022年4月5日(火)

2022度「イオン スカラシップ」奨学生 募集要項

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、当財団と略)は、「次代を担う青少年の健全な育成」、「諸外国との友好親善の促進」、「地域社会の持続的発展」に資する事業を3つの柱とし、社会貢献活動を推進するために1989年に設立されました。

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ



イオン スカラシップ —アジアの学生の夢を応援—

イオン スカラシップは、アジア各国の大学生及び日本で学ぶアジアの私費留学生を対象とした給付型奨学金制度です。将来、それぞれの専門分野で、日本と母国の架け橋となり活躍してほしいとの願いのもと、2006年にスタートしました。年間を通じた経済的支援のほか、日本で学ぶ奨学生を対象に、さまざまな研修カリキュラムやボランティア活動などの機会を提供し、グローバル人材への成長を目指す学生たちをサポートしています。奨学生認定証授与式では、奨学生が自らの夢と目標を語るスピーチ発表が行われます。

1. 奨学生候補者の推薦・選考から認定証授与式までの全体スケジュール

- | | |
|------------|---|
| ・4月22日(金)迄 | 各大学から当財団に候補学生を推薦 |
| ・5月第2週 | 第三者による選考委員会にて奨学生を決定 |
| ・5月20日頃 | 当財団から各大学へ奨学生決定通知を送付 |
| ・5月31日(火) | 各大学から当財団へ奨学金請求書の到着 認定学生による、専用サイトでの登録 |
| ・6月20日(月) | 当財団から各大学へ奨学金を振込 |
| ・7月16日(土) | 奨学生認定証授与式 |

2. 募集人数(新規奨学生数)

「一般枠」1～2名、「アセアン枠」1名

* 該当者がいる場合に限り「特別枠」において、適宜選考もあり(項目11参照)

* 「アセアン枠」は春募集で認定者が出ない場合、同年秋入学の候補者による応募を可とする。

3. 奨学金給付金額及び給付方法

- ①年間授業料全額(登録費/施設費/実習費などは含まず、また、授業料の上限は消費税込で220万円とする)
- ②生活費 月額10万円(消費税込)
- ③奨学生決定後、授業料及び生活費を大学経由にて給付
(生活費は大学における定期的な在籍確認をもって給付)

4. 奨学金給付期間

原則、2022年4月1日から2024年3月31日までの2年間とする。

(2年以内で卒業をする学生は、卒業月までの給付)

* 2年目継続の可否は、下記について総合的に勘案し決定する。

募集要項記載 【5】奨学生の応募資格と要件*1を満たしていること、

募集要項記載 【7】奨学生の責務が守られていること、

募集要項記載 【8】奨学金給付の停止または終了に抵触しないこと

* 1【資格】④については、申請時に満たしていれば問題ありません

5. 奨学生の応募資格と要件

各大学が当財団に推薦する学生は、次の各号に該当する学生とする。

【資格】

- ① 大学学部及び、大学院修士課程に在籍する正規生(渡日前の入学予定者を含む)
- ② 宗教系を除く学部、分野に所属している

- ③ 次のいずれかの国(または地域)の国籍を有する私費留学生
「一般枠」: インドネシア共和国、カンボジア王国、大韓民国、タイ王国、台湾、中華人民共和国、フィリピン共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、ラオス人民民主共和国
「アセアン枠」: インドネシア共和国、カンボジア王国、タイ王国、フィリピン共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、ラオス人民民主共和国
- ④ 本年4月1日現在で30歳以下(学部)又は、35歳以下(修士課程)である
- ⑤ 他機関からの奨学金を受給しない(渡航費助成、入学金助成等については奨学金にはあたりません。)
- ⑥ 公序良俗に反することなく、学生生活を過ごせる

【要件】

- ① 日本語能力の証明ができること (項目【6】応募提出書類 D ご参照)
- ② 「イオン スカラシップ」認定証授与式に出席できる
- ③ 本事業の目的を理解し、また卒業後は日本と母国の架け橋となって活躍する意志がある
- ④ 小売業(医療品販売を含む)・サービス業・金融業・商業・デベロッパ(不動産業)・農業・漁業 IT、環境系 に強い関心がある
- ⑤ 学業、人物ともに優秀で、真に経済的援助を必要とする
1ヶ月の生活費(授業料は除く)が14万円以下で、アルバイトを必要とする学生(生活費合計の目安として首都圏大学所属で14万円/月、地方大学所属で12万円/月程度)
- ※奨学金受給後、アルバイト時間数を削減できる方が望ましい
※当財団が企画する行事に極力参加できる方が望ましい

6. 応募提出書類

「一般枠」「アセアン枠」の奨学生に応募する方は、応募書類一式を、大学が指定する期日迄に大学窓口に提出してください。

【応募書類一覧】

- A. 奨学生申込書: 当財団所定の用紙に必要事項を記入(原則、日本語)
- B. 奨学生推薦書: 当財団所定の用紙に大学の指導教員(もしくはそれに準ずる方)に記入を依頼すること(渡日前入学者については、要相談)
- C. 申請直近の過去1年間の学業成績証明書の原本
(前年度、他大学/高校に在籍していた方は、在籍していた学校の成績証明書)
- D. 日本語能力を示す書類(下記のいずれか):
・日本語能力試験 合格証明書のコピー
「一般枠」は1級(N1)または2級(N2)合格、「アセアン枠」は3級(N3)以上の合格のわかるもの
・日本語能力の実力を有することを証明するもの(大学の指導教員による署名入りレターなど)
「一般枠」は1級(N1)または2級(N2)相当以上を、「アセアン枠」は3級(N3)相当以上を証明するもの
- E. 在留カードのコピー(両面分を1枚にコピーしてください)/渡日前入学者はパスポートコピー
- F. 誓約書: 当財団所定の用紙に、本人が署名してください
- G. 個人情報保護の取扱いに関する同意書: 当財団所定の用紙に、本人が署名してください
- H. 写真: JPEG データ
・直近3ヶ月以内に撮影した正面顔写真 ・サイズ縦4cm×横3cm、背景白
・ファイル名「大学名 パスポート表記名」 ・データは大学窓口へメール送信

※尚、応募時提出された書類は、いかなる理由があっても返却しません。

「特別枠」(項目11参照)の該当者が応募する場合の提出書類については、別途、大学窓口経由で、当財団までお問合せ下さい。

7. 奨学生の責務

- (1) 認定から1年後の提出物(継続認定可否について検討)
 - ① 1年間の学業成績証明書(原本)を大学経由で提出。
 - ② 学部4年生または修士2年生に進級する/している学生は、提出書類(継続生用)「卒業見込み意見書」(指導教員による記入・署名)を合わせて提出。
- (2) 認定終了時の提出物
卒業生: 修了/卒業証明を併記した過去1年間の学業成績証明書(原本)を大学経由で提出。
学部生: 1年間の学業成績証明書(原本)を大学経由で提出。
- (3) 奨学生認定期間中、住所、電話番号(携帯、自宅)、メールアドレス等の連絡手段に変更が発生した場合は当財団事務局へ速やかに届け出ること。(専用サイトで登録情報の更新をすること)
- (4) 当財団が企画・運営する行事に極力参加すること。
- (5) 卒業後の進路を当財団事務局へ届け出ること。(専用サイトで登録情報の更新をすること)
- (6) 認定終了後も、連絡手段に変更が発生した場合は、専用サイトで登録情報の更新をすること。

8. 奨学金給付の停止または終了

以下のいずれかに該当する場合には、当財団は奨学金の給付を停止または終了することができる。

- (1) 推薦時の奨学生の資格を満たさなくなった場合
- (2) 病気、休学その他の理由により成業の見込みのない場合
- (3) 学業成績の著しい低下、出席日数の減少、素行が不良となった場合
- (4) 在籍大学の学籍を失った場合
- (5) 留学(海外研修を含む)した場合(一度の留学で4ヵ月を超えないこと。奨学金受給期間中累計で6ヵ月を超えないこと)
- (6) 当財団に対する提出書類及び届出事項に虚偽があった場合
- (7) その他、当財団が奨学金の給付目的・趣旨または社会的相当性の観点から、奨学金の給付を不相当と認めた場合

※尚、奨学金の給付を停止された者が、その事由が止んで、在籍大学学長を経て奨学金給付の再開を願い出たときは所定の期間内において再開することがある。

9. 本年度の主な行事日程(予定)

- (1) 「イオン スカラシップ」奨学生認定証授与式
2022年7月16日(土) 於 イオンタワー(千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1)
 - (2) 「イオン スカラシップ」セミナー及び交流会
第1回目: 7月16日(土)午後~7月17日(日)1泊2日 認定証授与式終了後に引き続き開催
第2回目: 調整中
 - (3) 「イオンスカラシップ」就職活動応援セミナー 2023年1月14日(土)
於 東京都内予定
 - (4) 「イオン スカラシップ」修了式 2023年2月17日(金) 於 東京都内予定
- ※交通費(一部)、宿泊費は当財団が負担いたします。

その他通年で、奨学生の居住地で当財団が企画する社会貢献事業の開催案内や、同事業諸活動へのボランティア参加募集を実施しております。

上記参加のご案内や確認等が必要な場合に、当財団から奨学生への連絡方法はメールによる直接連絡か一斉連絡(BCC以外の発信の場合有り)、電話、または大学経由とさせていただきます。

10. イオンワンパーセントクラブにおける個人情報の取扱いについて

当財団は個人情報保護の重要性を認識し、個々の情報を大切に取扱いします。また、個人情報はその人の独自性や価値観を形成するものとして、人と同じように尊重するとともに、正しく安全に管理いたします。

- (1) 奨学生選考に用いた個人情報は、選考委員会での審査・奨学生決定通知、今後の奨学生選考方法の検討資料作成のために利用します。また、利用する必要がなくなったときは、当該個人情報を遅滞なく消去します。
- (2) 認定された奨学生についてのみ、応募にあたってお知らせいただいた個人情報は、奨学生認定後の、当財団企画諸活動に必要な手続き業務及び奨学生支援活動等当財団の諸活動及びそれに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 認定された奨学生についてのみ、当財団の業務を行うために必要となる限度で、当財団との間で協力関係にある各機関・団体・法人各位に対し、当事業遂行のために必要となる限度で個人情報を提供することがあります。

項目【6】応募提出書類 G 「個人情報の取扱いに関して」をご一読の上、当財団の個人情報の取扱いについて同意書を提出してください。

11. 「特別枠」について

「一般枠」「アセアン枠」に候補者とならず、下記ア～ウに該当する者を同枠として選考する。

ア. 中国・アセアン地域 元イオン スカラシップ生

中国における「イオン杯」日本語スピーチコンテスト優勝者、及び「イオン杯」中国全国通訳大会優勝者

イ. 中国・アセアン地域 当財団提携大学からの推薦を受けた者

ウ. その他、当財団が「特別枠」に該当すると判断する者

* 出身大学からの推薦状が必要な場合があります。

当財団で該当者であるか確認しますので、大学窓口を経由して、先ずお問い合わせください。

12. その他

募集要項に関し不明な点等がございましたら、各大学を通じて当財団へ照会してください。

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1 イオンスカラシップ(国内)担当者

以上

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

| 4段階評価（パターン1） | 成績評価 | | | | |
|--------------|---------|--------|--------|--------|------|
| | 優 | 良 | 可 | 不可 | |
| 4段階評価（パターン2） | A | B | C | F | |
| 4段階評価（パターン3） | 100～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点～ | |
| 5段階評価（パターン4） | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点～ |
| 5段階評価（パターン5） | S | A | B | C | F |
| 5段階評価（パターン6） | A | B | C | D | F |
| 成績評価ポイント | 3 | 3 | 2 | 1 | 0 |

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2022年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

| | | | |
|--------------------------|--------------------------------|---------------|-----------|
| 身 分 | 学部 年 学部研究生 MC 年 DC 年 大学院研究生 | 学籍番号 | |
| 学科名 専攻名 | 指導 教員 | 研究室 TEL | |
| 氏 名 (漢字) | | | 既婚・未婚 |
| 生年月日 | 年 月 日生 (年齢 才) | 国 籍 | |
| 東北大学 入学前の 在籍大学 | | | 年 月 卒業・修了 |
| 東北大学 での移動 (新しい順番に) | 在籍身分 | 在籍期間 | |
| | | 年 月 ~ 現在 | |
| | | 年 月 ~ 年 月 | |
| 住 居 (○で囲む) | ユニバーシティ・ハウス青葉山 | 国際交流会館三条第一会館 | |
| | ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) | 国際交流会館三条第二会館 | |
| | ユニバーシティ・ハウス片平 | ユニバーシティ・ハウス長町 | |
| | 国際交流会館東仙台会館 | | |
| | 県・市営住宅・民間アパート(住所) | | |

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

| 氏 名 | 続柄 | 年齢 | 同/別居 | 職業 | 勤務先または学校名 |
|-----|----|----|------|----|-----------|
| | 父 | | | | |
| | 母 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

*

*2022年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

| | | | | |
|----|-----------|--------|------|--|
| 在籍 | 学部 年 | 学部研究生 | 学籍番号 | |
| | MC 年 DC 年 | 大学院研究生 | | |
| 氏名 | | | | |

家計状況

* 2021年4月から2022年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2021年10月入学の方は、2021年10月から2022年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

| 収入 | | 支出 | |
|----------|---|--------|---|
| 自己資金(預金) | 円 | 授業料 | 円 |
| 仕送り | 円 | 住居費 | 円 |
| 奨学金 | 円 | 生活費 | 円 |
| その他() | 円 | その他() | 円 |
| 合計 | 円 | 合計 | 円 |

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

| もらっていた期間 | 月額・年額(○で囲む) | 奨学金の名称 |
|-----------|-------------|--------|
| 年 月 ~ 年 月 | 月額・年額 円 | |
| 年 月 ~ 年 月 | 月額・年額 円 | |

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2021年 ○○奨学金)

| |
|--|
| |
| |

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

| | | | | | | |
|--------|----|------|------|-------|-----|-------------|
| 2022年度 | 後期 | 全額免除 | 半額免除 | 1/3免除 | 申請中 | 申請したが不許可だった |
| | 前期 | 全額免除 | 半額免除 | 1/3免除 | 申請中 | 申請したが不許可だった |
| 2021年度 | 後期 | 全額免除 | 半額免除 | 1/3免除 | - | 申請したが不許可だった |
| | 前期 | 全額免除 | 半額免除 | 1/3免除 | - | 申請したが不許可だった |